

全国有数の七夕飾りとバラが彩る

●ひらつかし

平塚市

人口: 258,427人(6位)
面積: 67.82km²(13位)
※は境界の一部が未定のため、参考値
市の木: くすのき
市の花: なでしこ

早わかり!
平塚市の
自慢
BEST 3

夏の訪れを告げる 七夕まつり

毎年7月上旬に開催され、豪華絢爛な飾りが夏の空を舞い踊る。流行や話題を取り入れたユニークな飾りも毎年のお楽しみ。ライトアップされる夜も必見だ。(→P303)



写真提供:
(一社)平塚市観光協会

一度は見たい!

湘南平からの絶景

360度のパノラマビューで知られる人気スポット。展望台からは湘南の海岸線、丹沢連峰、富士山まで見渡せる。桜の時期にはお花見もおすすめ!



写真提供:
平塚市

県内屈指の生産量 バラ咲き誇るまち

バラ生産が盛んで、その歴史は昭和30年代にまでさかのぼる。総合公園などのほか、花菜ガーデンでバラ鑑賞ができ、春と秋それぞれの美しさを楽しめる。(→P304)



日帰りモデルコース

- 平塚駅
- バス5分
 - ① 平塚市美術館 (→P306)
徒歩9分
 - ② 八百屋コウタのフルーツパーラー (→P307)
徒歩4分
 - ③ 平塚八幡宮 (→P305)
徒歩5分
 - ④ 八幡山の洋館 (→P309)
徒歩15分
 - ⑤ キャラウェイ (→P307)
徒歩15分
- 平塚駅

ゆかりの キャラ

くす丸くんと なっちゃん

市の木「くすのき」と市の花「なでしこ」から生まれたマスコット。くす丸くんは「たくましさと生命力」を、なっちゃんは「やさしさと愛」をイメージしている。

アクセスの起点駅

●JR 平塚駅

MAP 別冊P6A2

おもなイベント ▶ 湘南ひらつか七夕まつり 7月上旬 ● JR平塚駅北口周辺 (JR平塚駅から徒歩すぐ)
花ごよみ 桜 3月下旬～4月上旬 ● 湘南平 (JR平塚駅から徒歩16分)
国宝・重要文化財 ● 木造 不動明王立像【重文】 ● 八剱神社 (JR平塚駅から徒歩16分)

平塚市

全国に知られる

湘南ひらつか七夕まつり

華麗な七夕飾りは、夏の訪れを告げる風物詩。町の発展と共に70年以上にわたり受け継がれ、多くの人々を魅了するまつりを楽しもう。

まずは
知りたい!
平塚市
レコメンド

開催日: 7月上旬

● JR平塚駅北口商店街を中心とする市内全域 ● JR平塚駅から徒歩2分 ● 公式サイトを参照 ● なし ● MAP 別冊P32A3

個性豊かな飾りが色鮮やかにライトアップされる夜景もぜひ楽しみたい

どんなお祭り?

平塚駅北口の「湘南スターモール」と「紅谷パルロード」をメイン会場に、豪華絢爛な飾りが商店街を埋めつくす。大型のものから、時代のトレンドを映すものまで見どころ満載。飾りに電球が施され、夜はライトアップを楽しめるのも特徴だ。飾りのコンクールやパレードも行われ、市のPRを行う「湘南ひらつか織り姫」は毎年七夕まつり前夜祭でデビューする。

「始まりは平塚商人たちの誇りから」

2024年に72回目を迎えた祭りの背景には復興への歩みがある。海軍火薬庫のあった平塚は、昭和20年(1945)7月の空襲で大規模な被害を受けた。しかし市民は力強く立ち上がり、昭和25年(1950)には「復興まつり」を開催。これが多くの人を集めたことから、昭和26年(1951)7月、商工会議所と商店街連合会を中心に、仙台の七夕まつりを範として第1回七夕まつりが始動。当初は商店が各店舗前に竹飾りを飾っていた。その後、市の主催となり、平塚の名を広めながら、日本を代表する七夕まつりへと成長。350万人を超える人出を数えた年もあった。現在は実行委員会の運営のもと、町の発展を願う市民一体の祭りとして受け継がれている。



昭和26年(1951)第3回七夕まつり

みやげに平塚名物を!

つるや製菓の都まんじゅう

70年ほど続く老舗菓子店。白あんが入った、どこか懐かしい都まんじゅうは市民のソウルフードだ。季節に合わせて変わる焼き印も楽しい。

☎ 0463-21-2258 ● 平塚市紅谷町2-27 ● JR平塚駅から徒歩2分 ● 9～18時(なくなり次第閉店) ● 休 水曜・火曜不定休 ● なし ● MAP 別冊P32A3



手で一つ一つ押す焼き印。店頭から見える製造風景も風物詩

みどころポイント 飾りの種類

企業などが出す「企業飾り」と「市民飾り」の大きく2つ。市民飾りは無償で提供された材料を使い、各団体が手作りする。その技術指導を行うのが、企業の飾り製作も担う甲興産だ。5月上旬頃より週数回、製作会場へ向かい、行燈の木枠製作などを補助する。飾りは基本的にくす玉、行燈、吹き流しの3～4連で構成されるが、各団体の希望に寄り添い、アレンジを施すことも。団体は学生やサッカーチームなどさまざまで、手作りならではの温かみが魅力だ。園児や小学生の団体による「こども飾り」も会場の広場で飾られる。

甲興産 代表 田中 秀明樹さん

飾り製作を請け負う会社が減る中、2016年に飾り作りを始めた甲興産。2年前には前任者より市民飾りの技術指導を受け継いだ。「市民の皆さんも数カ月かけてがんばって作っています」と田中さん。



みどころポイント 七夕おどり

歌手の都はるみさんが歌う「見るより聞くより踊るもの～」で始まる七夕おどりは、昭和45年(1970)年に発表された。当初は、コンクール形式で踊られていたが、参加者が多くなったことから、パレードで踊りながら練り歩くスタイルに。これが今も「千人パレード」として祭りの見どころの一つとなっている。平塚っ子の地域の盆踊りでも定番の曲だ。



写真提供:
(一社)平塚市観光協会

神奈川
オール
スターズ

横浜
市

川崎
市

鎌倉・横須賀・逗子

藤沢・茅ヶ崎・平塚

相模原・厚木・秦野

小田原・箱根・大磯